

近畿労働金庫の『お客さま本位の業務運営に関する取組み方針』にかかる成果指標（KPI） 【2024年3月末】

当金庫では、『[お客さま本位の業務運営に関する取組み方針](#)』（以下、本方針）を策定し、お客さま本位の業務運営を実践しています。

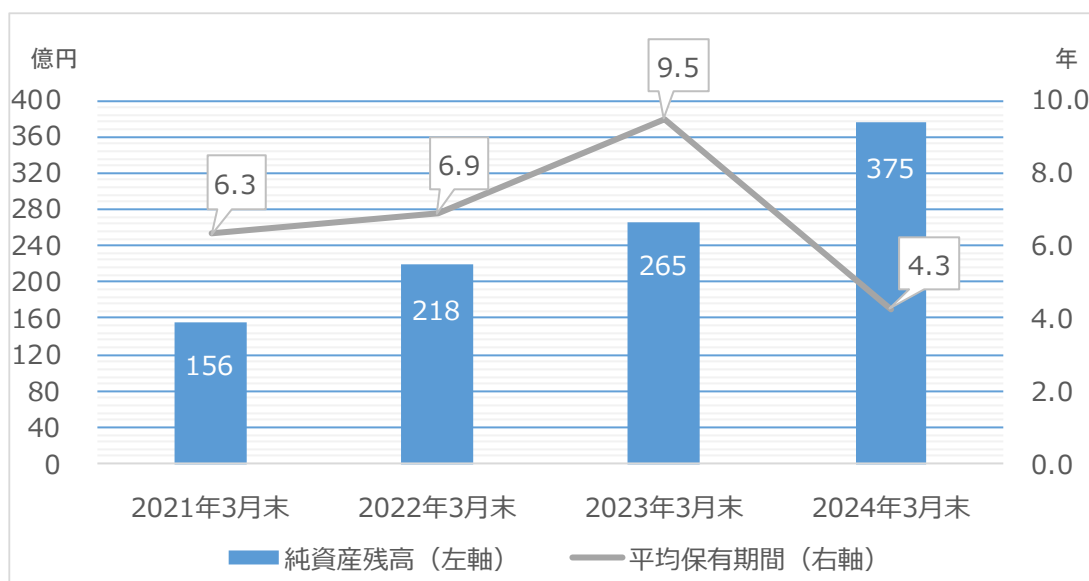
本方針に基づく取組みの成果指標（KPI）について、2024年3月末時点の状況は以下のとおりです。

①【方針2】お客さまの生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み

当金庫では、お客さま一人ひとりのライフプランやニーズを丁寧に確認し、お客さまの金融商品の取引経験や金融商品知識を把握したうえで、お客さまに適した誠実な資産形成・資産運用のご提案を行っています。

<投資信託の平均保有期間推移および純資産残高推移>

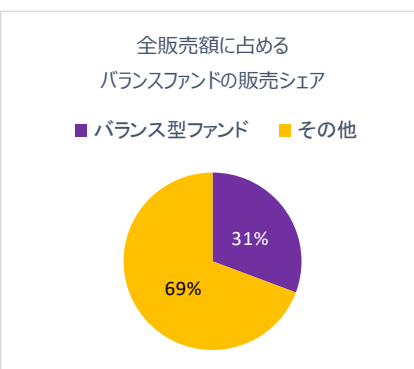
当金庫で投資信託をご購入いただいたお客さまの平均保有期間および純資産残高の推移は、以下のグラフのとおりです。



<投資信託販売の上位商品（2023 年度通期）>

当金庫では、投資信託の販売・推奨等にあたり「中長期分散投資」を軸とした資産運用提案を行い、お客さまに最適なファンドを選択いただく取組みを実践しています。

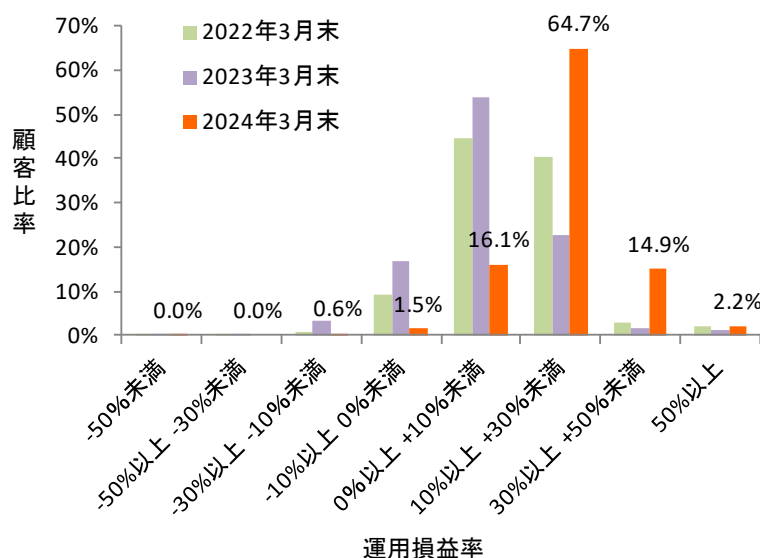
	銘柄名	投資対象資産	販売シェア
1	たわらノーロード 日経225	国内株式	12.8%
2	たわらノーロード 先進国株式	海外株式	11.6%
3	たわらノーロード S&P500	海外株式	8.0%
4	のむらップ・ファンド（普通型）	バランス	7.9%
5	たわらノーロード 全世界株式	海外株式	6.9%
6	つみたて8資産均等バランス	バランス	6.2%
7	のむらップ・ファンド（積極型）	バランス	4.9%
8	eMAXIS NYダウインデックス	海外株式	4.2%
9	インデックスファンドNASDAQ100（アメリカ株式）	海外株式	3.7%
10	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	海外株式	3.2%



<投資信託の運用損益別顧客比率>

当金庫にて投資信託をご購入いただいたお客さまの「運用損益別顧客比率」は、以下のグラフのとおりです。この指標では、ご購入時からどれくらいの運用損益（手数料控除後）が生じているかについて基準日時点で算出し、お客さまの割合を表しています。

運用損益率がプラス（0%以上）の顧客比率は98.0%となり、2023年3月末から18.3ポイント上昇しました。



<投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リスク・リターン>

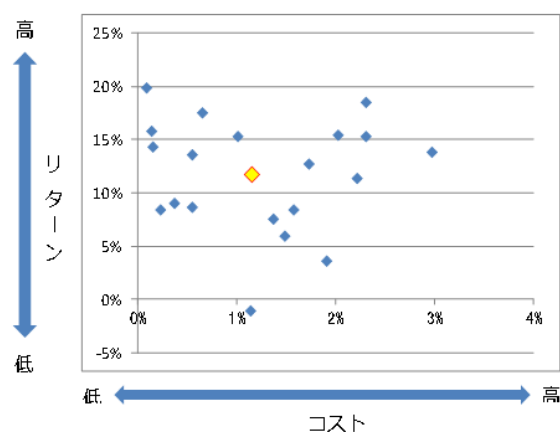
この指標は、設定後 5 年以上経過している投資信託の預かり残高上位 20 銘柄について、コストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示しています。

当金庫の投資信託残高上位 20 銘柄では、平均コスト 1.15%、平均リスク 13.29%に対し、平均リターンは 11.72%となりました。

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	世界の財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38	10.06	7.59
2	たわらノーロード 先進国株式	0.10	17.20	19.90
3	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.28	5.94
4	たわらノーロード 日経225	0.14	17.03	15.75
5	のむらップ・ファンド（普通型）	1.57	9.29	8.36
6	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
7	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	1.91	5.33	3.55
8	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	17.26	17.48
9	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	18.94	11.41
10	のむらップ・ファンド（積極型）	1.74	12.98	12.68
11	ニッセイSDGsグローバル・セレクトファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.02	17.43	15.41
12	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.31	20.36	18.45
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	14.82	13.85
14	インデックスファンド225	1.01	17.02	15.33
15	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.14	3.81	△ 1.09
16	iFree 新興国株式インデックス	0.37	18.34	9.01
17	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55	9.68	8.62
18	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55	14.24	13.53
19	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.31	13.12	15.28
20	iFree TOPIXインデックス	0.15	14.23	14.27

(注) 設定後5年以上経過している投資信託（DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く。）の残高上位20銘柄を対象とします。

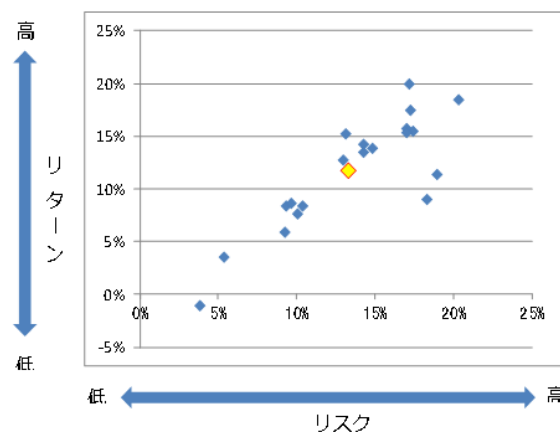
投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.15	11.72

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
	リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

投資信託預かり残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.29	11.72

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

リスク・リターン出所：株式会社NTTデータ・エーピック
Copyright (C) 2024, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

②【方針3】利益相反を適切に管理する取組み

<利益相反管理方針>

当金庫は、お客さまの利益が不当に害されることがないように、利益相反のおそれがある取引を特定し管理するための「利益相反管理方針」を定めています。当該方針に基づき、利益相反について一元的に対応する体制を整備するなど、お客さまの保護と正当な利益確保に努めるための適切な管理を行っています。

※利益相反管理方針は当金庫ホームページに掲載しています（掲載ページは、[こちら](#)）。

<投資信託商品のラインアップ>

当金庫では、お客さまが最善の利益を得られることを第一に考え、お一人おひとりのニーズに応じた商品を選択いただけるよう、ラインアップを整備しています。

※取扱ファンドの一覧は、[こちら](#)です。

種別	主要投資対象資産	窓口取扱い商品数	ネット専用商品数	NISA（つみたて投資枠）対象※	
				ノーロード	
株式投資信託	国内債券	-	1	1	-
	海外債券	4	5	3	-
	国内株式	2	4	3	2
	国内株式（ESG）	2	1	-	-
	海外株式	8	7	7	6
	海外株式（ESG）	1	-	-	-
	国内REIT	1	2	1	-
	海外REIT	2	3	2	-
	バランス	12	8	6	6
	バランス（ESG）	1	-	-	-
合計		33	31	23	14

※NISA（つみたて投資枠）を利用した定時定額買付契約の新規・変更・廃止および解約は、営業店窓口でもお手続きいただけます。

③【方針4】手数料等にかかる情報提供の取組み

<ファンド一覧（ホームページ掲載）>

当金庫では、投資信託にかかる手数料については、ホームページにファンド一覧を掲載し、商品間での比較が簡単にできるよう、投資信託ラインアップ等の資料を作成しています。

※取扱ファンドの一覧は、[こちら](#)です。

④【方針5】お客さまの立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み

<預かり資産販売支援システム利用率>

お客さまからの投資信託の受付においては、適合性の原則に即し、誤解を招くことのない誠実な情報提供を行うため、専用のシステム（預かり資産販売支援システム）を活用し、法令を遵守した販売フローを構築しています。

年度	利用率
2022年度	95.1%
2023年度	95.2%

●窓口での投資信託の通常買付・定時定額契約買付契約の受付における本システムの利用率を示しています。当金庫で初めてお取引いただく場合等につきましては、本システムを利用できませんので、書面での受付を行います。

⑥【方針6】お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取組み

当金庫は、投資信託の販売・推奨等にあたっては、預かり資産販売支援システム（④【方針5】お客さまの立場に立ったわかりやすい情報提供の取組みを参照）を活用しながら、お客さまの投資目的、投資経験、資産状況等を確認し、類似の商品がある場合はその商品との比較も含め、お客さま一人ひとりに合った、適切な説明・提案を誠実にを行っています。また、適合性の確認を確実に実施し、特にご高齢のお客さまの取引については、その推奨および販売などが適当か、より慎重な確認を行っています。

金融商品の販売後においては、お客さまの意向に基づき、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップも行っています。

<投資信託販売に占める積立投信の割合>

当金庫では、元本保証の積立預金等に加え、投資信託の定時定額買付による資産形成を推進しています。税制面でのメリットを活かせるNISAを利用した定時定額買付契約もお勧めしています。

項目	人数・割合
投資信託口座保有人数	25,132名
定時定額買付契約人数	14,439名
うち、NISA利用	13,782名
定時定額買付契約率	57.5%

<金融商品にかかる職員研修の実施状況（2023年度通期）>

当金庫では、金融商品の販売を担当する職員への研修を定期的 to 実施しています。また、全営業店の営業・管理責任者を対象とした研修では、本方針が策定された背景や趣旨を確認し、各営業店で共有することで全職員への浸透を図っています。

研修名	開催数	参加職員数
・投信販売実践研修 ・足元のマーケットから投資信託を学ぶ 等	65回	延べ1,593名

<お客さま向けセミナーの開催状況（2023年度通期）>

当金庫ではお客さまの資産形成を支援するための各種セミナーを開催し、お客さまの金融リテラシーの向上に貢献しています。

分類	開催回数	参加人数
ライフプランセミナー	798回	13,758名
資産運用関連セミナー	1,146回	20,213名
消費者・金融教育関連セミナー	179回	3,932名

⑥【方針7】「ろうきんの理念」の職員への定着と実践に向けた取組み

＜「ろうきんの理念」にかかる職員研修の実施状況（2023年度通期）＞

ろうきん業態では、「ろうきんの理念」を掲げ、常にお客さまである勤労者の生活向上への貢献を第一に考えた運営を行っています。「ろうきんの理念」の職員への定着とその実践に向け、業態の中央機関である全国労働金庫協会において「理念研修」を実施しており、全国のろうきん職員が参加しています。当金庫においても、〈ろうきん〉ならではの存在意義と役割発揮にかかる研修等を人材教育体系の中で実施しています。

研修名	開催回数	参加職員数
新入庫職員研修「ろうきんの歴史と理念」	1回	29名
理念研修	1回	27名
若手理念研修（労金協会主催研修への派遣）	3回	18名
計	5回	74名

＜資格取得職員数・保有率＞

当金庫では、お客さまに最適なアドバイスと情報提供ができるよう、職員のスキルアップを図っています。

資格	職員数	保有率
FP1級・2級・3級	779名	86.7%
DCプランナー1級・2級	98名	10.9%

※正規職員数をベースとした人数・割合を表示しています。

以 上